

## <参考情報>

### ●大井川鐵道の基本情報

区分	本線	井川線
営業区間	金谷～千頭	千頭～井川
営業キロ	39.5km	25.5km（アプト区間2.2km）
駅数	20駅	14駅
軌間	1,067mm	1,067mm
運行回数	平日：28回、土曜休日：33回	10回
軌道	50kgNレール（37kgレール・40kgNレール有）	22kgレール（アプト区間のみ50kgレール）
トンネル	14箇所（延べ4,070m）	61箇所（延べ7,712m）
橋梁	96箇所（延べ1,603m）	55箇所（延べ2,120m）
踏切	33箇所（第1種：22、第4種：11）	6箇所（第1種：4、第4種：2）
変電所設備	2箇所	1箇所
車両※	42両（C：5、ED：6、制：10、他：21）	37両（ED：3、DD：8、制：4、他：22）
社員	90人（本社部門15人、現業部門75人）	

※C：蒸気機関車、ED：電気機関車、DD：内燃機関車、制：制御車、他：客車

# ●大井川鐵道の歴史

時 期	内 容
大正14年3月10日	設立（旧大井川鐵道株式会社）〈令和7年3月10日で100周年〉
昭和2年6月10日	本線（金谷～横岡間6.5km）営業開始
昭和6年12月1日	本線全線開通
昭和24年12月1日	本線電化開通
昭和34年8月1日	井川線（千頭～堂平間26.6km）営業開始
昭和46年4月1日	井川線（井川～堂平間）廃止
昭和51年7月9日	本線S L復活運転
平成2年10月2日	井川線77°ト式鐵道営業開始
平成4年10月13日	千頭新駅舎および駅前広場完成
平成12年10月1日	大井川鐵道(株)と昭和57年に分社化した大鉄技術サービス(株)が合併、翌2日に社名が大井川鐵道(株)となる。
平成26年7月12日	アジアで初めてきかんしゃトーマス号を運行
平成29年6月16日	エクリプス日高(株)の完全子会社となる。
令和2年11月12日	本線五和駅を合格駅に改名、合格～神尾間に門出駅開業

# ●大井川鐵道本線の利用状況

(単位：人)

800,000

700,000

600,000

500,000

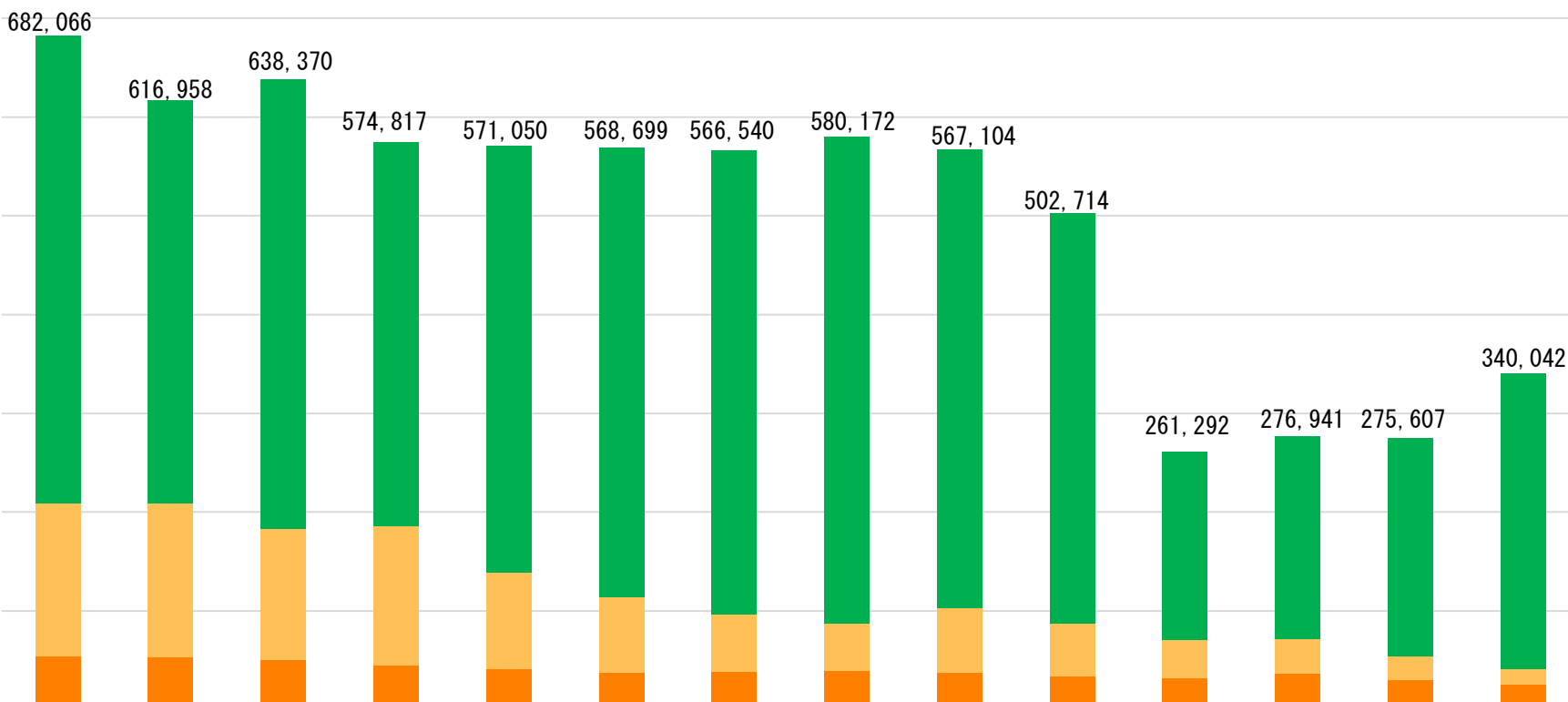
400,000

300,000

200,000

100,000

0

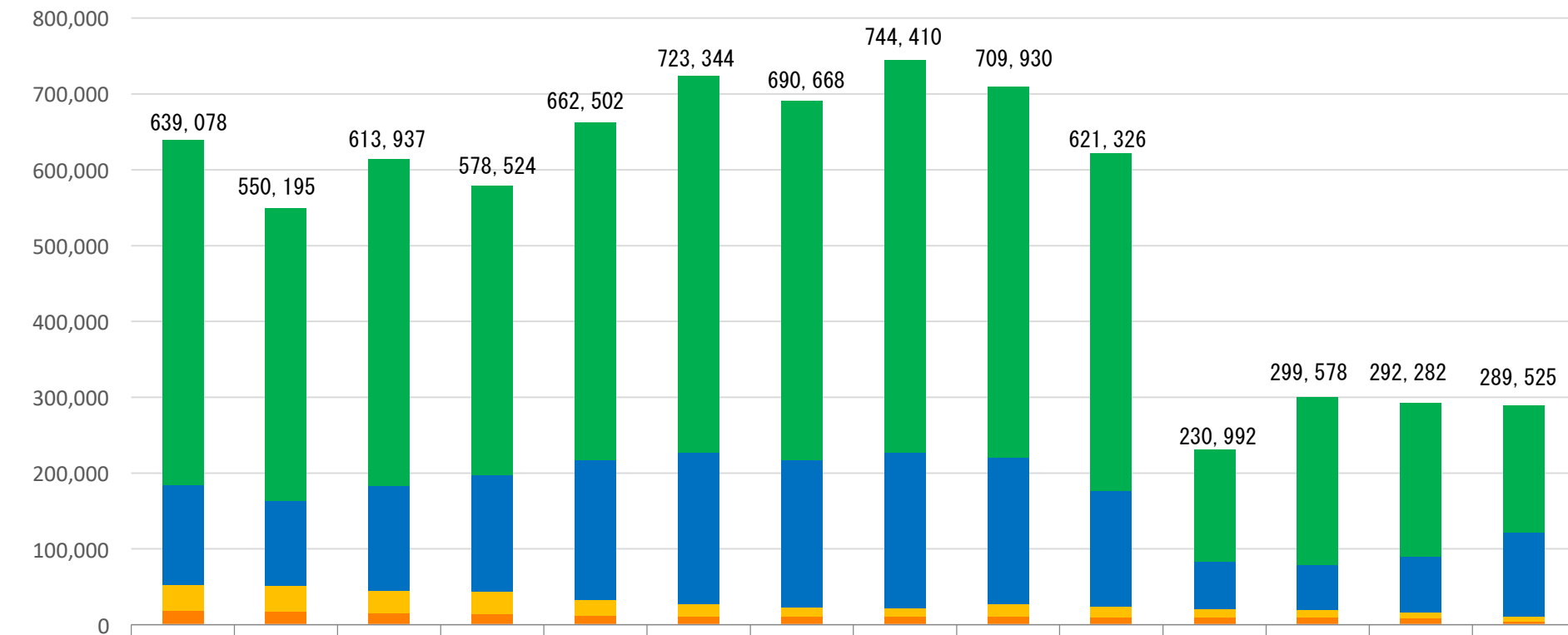


	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
定期外	473,806	408,218	454,920	388,427	432,150	454,489	469,490	492,572	463,964	415,114	190,372	204,701	221,307	298,702
通学定期	153,540	155,040	132,660	141,930	97,590	76,350	58,020	48,420	65,640	54,360	38,460	35,460	24,420	15,480
通勤定期	54,720	53,700	50,790	44,460	41,310	37,860	39,030	39,180	37,500	33,240	32,460	36,780	29,880	25,860

通勤定期 通学定期 定期外

# ●大井川鐵道本線の運賃収入

(単位：千円)



通勤定期 通学定期 急行料 定期外

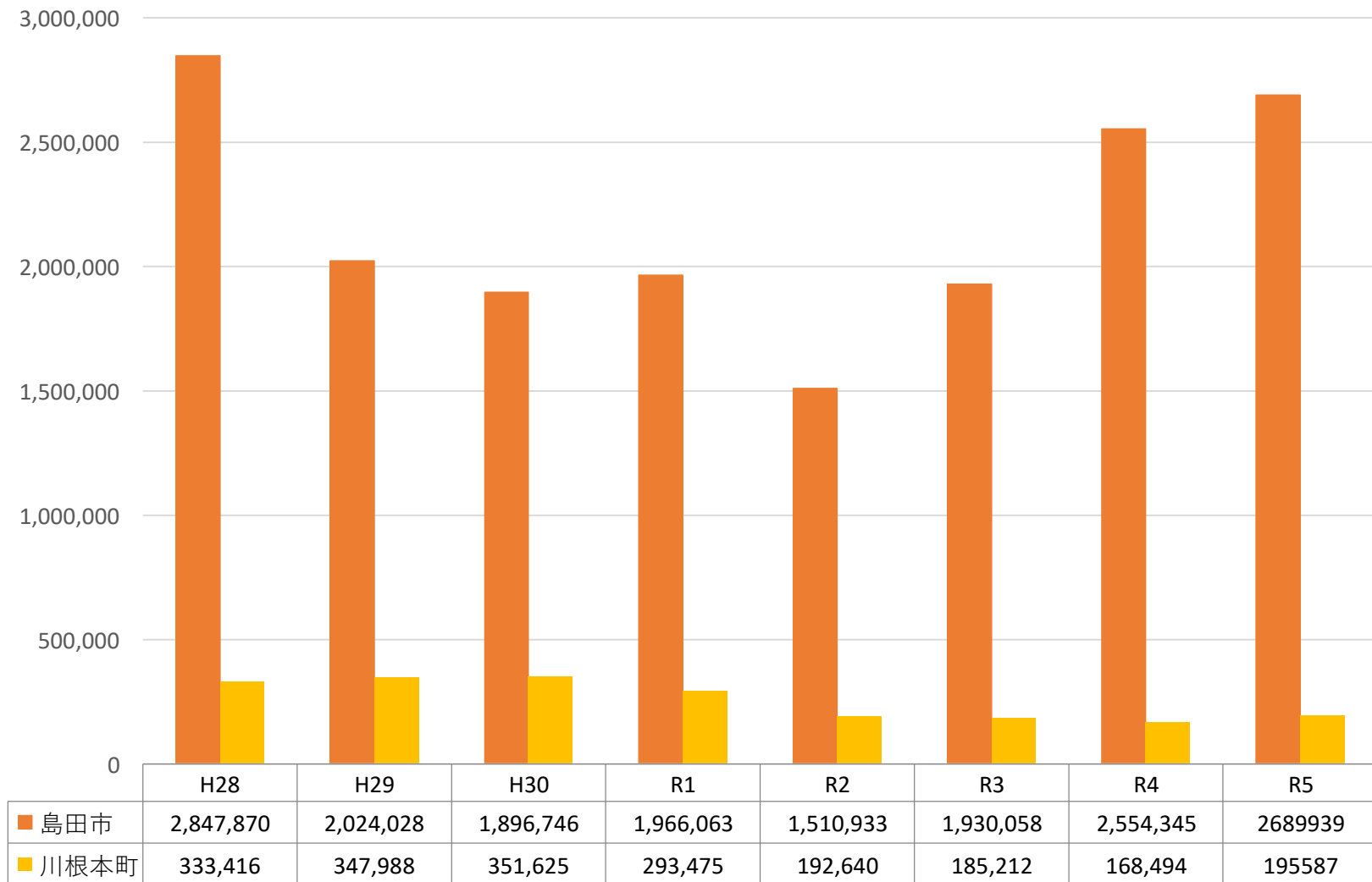
# ●大井川鐵道本線の収支状況

(単位：千円)

事業	科目	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5
鉄道事業	営業収益	967,340	1,029,659	1,016,588	954,549	509,896	571,412	545,750	576,332
	営業費用	961,128	1,025,432	1,029,580	1,056,929	962,993	914,944	901,602	870,173
	営業損益	6,212	4,227	▲ 12,992	▲ 102,380	▲ 453,097	▲ 343,532	▲ 355,852	▲ 293,841
その他事業	営業収益	201,877	646,834	644,052	804,714	460,107	614,835	764,584	807,721
	営業費用	145,589	547,961	566,730	789,323	534,964	623,345	721,372	724,437
	営業損益	56,288	98,873	77,322	15,391	▲ 74,857	▲ 8,509	43,212	83,284
全事業	営業収益	1,169,217	1,676,493	1,660,640	1,759,263	970,003	1,186,247	1,310,334	1,384,053
	営業費用	1,106,717	1,573,393	1,596,310	1,846,252	1,497,957	1,538,289	1,622,974	1,594,610
	営業損益	62,500	103,100	64,330	▲ 86,989	▲ 527,954	▲ 352,041	▲ 312,640	▲ 210,557
	営業外損益	▲ 17,545	▲ 7,372	▲ 12,787	▲ 6,220	36,454	▲ 9,259	83,886	7,287
	経常損益	44,955	95,728	51,543	▲ 93,209	▲ 491,500	▲ 361,300	▲ 228,753	▲ 203,270
	特別利益	271,457	308,088	86,499	119,459	254,080	542,346	235,694	217,987
	特別損失	30,825	185,155	92,590	117,640	108,344	362,807	162,100	61,404
	法人税等	1,097	1,096	1,096	1,097	1,097	856	856	856
	当期損益	284,490	217,565	44,356	▲ 92,487	▲ 346,861	▲ 182,618	▲ 156,016	▲ 47,544

# ●観光等への影響

(単位：人)



[長期時系列【静岡県観光交流の動向】]

# ● 検討会構成員

所	属	職	名
中部運輸局交通政策部交通企画課		課長	
中部運輸局鉄道部監理課		課長	
中部運輸局鉄道部計画課		課長	
中部運輸局静岡運輸支局		首席運輸企画専門官	
静岡県交通基盤部都市局地域交通課		課長	
静岡県スポーツ・文化観光部観光交流局観光政策課		課長	
静岡県経営管理部中部地域局		次長兼地域課長	
静岡市都市局都市計画部		交通政策・MaaS担当部長	
島田市地域生活部		部長	
川根本町		副町長	
中部電力株式会社 再生可能エネルギーカンパニー静岡水力センター業務課		課長	
大井川鐵道株式会社		代表取締役社長	

# ●地元住民からの熱い期待

大井川鐵道本線の全線復旧早期実現に向けた署名の提出について

令和5年 9月11日

静岡県知事 川勝平太 様

大井川鐵道全線復旧を支援する会  
会長 山口捷彦



## 署名活動の目的

大井川鐵道は、100年近い歴史の中で、大井川沿線において、地域住民の貴重な足として、また観光客の足としてなど、それぞれの時代で貴重な役割を担ってきました。

特に近年では、全国有数の貴重な観光資源としても注目されており、温泉、お茶、南アルプスのへのアクセスとしても、本県を代表する観光交流の拠点を支える貴重な鉄道であります。

しかしながら、昨年の台風15号により大きな被害を受け、現在もお不通となっており、地域の活性化にも影響をきたしているところであります。

沿線住民をはじめ全国の方々から一日も早い全線復旧を待ち望む熱い思いを寄せていただきました。

つきましては、大井川鐵道本線の全線復旧早期実現について、全面的なご支援をお願いいたします。

また、国に対しましても、早期全線復旧に向けての全面的なご支援をいただきますよう働きかけをお願いいたします。



令和5年9月11日に35,916筆の署名が、  
令和6年10月17日に追加で8,679筆の  
署名が提出され、計44,595筆の署名が  
届いています。